

第6号様式（第24条関係）

プロポーザルによる受託候補者選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した受託候補者と契約締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

業務名	会津若松市ふるさと納税返礼品発送業務委託		
委託期間	平成30年6月1日～平成31年3月31日	担当課	総務課
契約の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ・会津若松酒造協同組合 ・会津漆器協同組合 ・会津丸善水産株式会社 	契約締結日	平成30年6月1日

2 提案等の審査結果

審査日	提案書審査	平成30年5月18日	ヒアリング審査	平成30年5月18日
選考委員名	<ul style="list-style-type: none"> ・八木橋 彰（公立大学法人会津大学短期大学部講師） ・安齋 直美（会津若松市消費生活相談員） ・藤原 美千代（愛友あいづネット会員） ・橋本 登貴子（会津若松市女性人材リスト登録者） ・山口 城弘（会津若松市総務部企画副参事） ・鈴木 茂（会津若松市観光商工部企画副参事） ・齋藤 浩（会津若松市農政部企画副参事） 			
審査方法	<p>過半数を超える選考委員から最高順位を得た者がいなかったことから、全選考委員の合計得点が最高得点であった者を第1位の受託候補者として選定し、その他2者については、選考委員の評価点の合計により、第2位以下の順位付けを行った。</p> <p>なお、全者が一定水準の評価点を得ており、提案内容も優れていたことから、選考委員の合議により、全者を受託候補者として選定した。</p>			
選 評	<p>（会津若松酒造協同組合）</p> <p>福島県の清酒が6年連続金賞受賞日本一となり、会津の地場産品である日本酒の人気のますます高まることが想定される。また、会津産米100%使用の酒は大変魅力があり、返礼品として大変ふさわしいという意見が大勢を占めた。</p> <p>さらに、同一寄附者に対し、前回送った日本酒と重ならないようにする配慮や、一つの蔵元に受注が偏らないようにするなどの工夫がされていることも評価されたところである。</p> <p>一方で、50万円以上の寄附者への返礼品を望む声や、数量限定の返礼品について、設定数を超えた際の対応を望む声もあった。</p> <p>（会津漆器協同組合）</p> <p>漆器は会津の伝統的な地場産品であるが、今回アクセサリや照明器具なども追加され、ますます品揃えが拡充し、寄附者にとって選ぶ楽しみが増え、魅力ある内容となった。</p> <p>また、3種類の金額コースの全てに提案されていることや、これまでの実績や実施体制も評価されたところである。</p> <p>一方で、電子レンジや食洗器に対応した日常的に使用できる漆器を望む声や、一部設定金額に届いていない品があり、その差を埋める商品とのセット化を望む声もあった。</p>			

	<p>(会津丸善水産株式会社) 会津の伝統食品の一つである鯨の山椒漬や棒タラ煮などは、会津の食文化をPRすることができ、返礼品としても魅力があると思われる。 一方で、製造のこだわりから殺菌処理をしていない製法のため、一部の商品の賞味期限が短いことから、発送する際には寄附者との連絡調整などの配慮が必要であるとの意見もあった。</p>
--	---

3 選考結果

参加者名 (受付順)	評価点					最高点採点者数又は合計点
	1 事業者の概要、業務実績	2 業務の実施体制、総括責任者・担当者の役割、業務フロー	3 返礼品に対する基本的な考え方(コンセプト)	4 返礼品の選定ポイント	5 返礼品の価格内訳	
会津若松酒造協同組合	60	110	66	305	59	3名 (600点)
会津漆器協同組合	60	125	66	260	54	3名 (565点)
会津丸善水産株式会社	49	95	49	225	49	1名 (467点)

※ 評価点は、審査項目ごとの審査委員の合計点です。